6/13 赤旗

核保有9カ国、核兵器に年11兆円超

ICAN報告 3年連続増

【ワシントン＝島田峰隆】米国やロシアなど核保有9カ国が2022年に核兵器の開発や維持のために費やした金額は、合計で約829億ドル（約11兆5500億円）に上ることが分かりました（表）。国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」（ICAN）が12日に発表した年次報告書で明らかにしました。

1分当たりに換算すると約15万8000ドル（約2200万円）です。核兵器システムの近代化や核弾頭の増強を進めるなか、9カ国合計の核兵器関連支出は3年連続で増加しました。

これだけの金額があれば、20億人に新型コロナウイルスのワクチンを提供するか、あるいは約13億人に1年間、清潔な水と公衆衛生を提供することができます。

核兵器へもっとも多く予算を費やしているのは米国で、残りの8カ国の合計よりも多くなっています。2位と3位の中国とロシアは、それぞれ前年比で6％程度増やしました。前年比でもっとも増加率が高かったのはインドで、約22％増でした。

9カ国は核兵器開発企業と少なくとも2786億ドル（約38兆8200億円）相当の契約を結んでおり、2040年まで続く契約もあります。核兵器開発企業は、米英などの研究所へ出資したり政府へのロビー活動を行ったりすることで、核兵器の開発・維持の政策が継続するよう影響を与えています。

報告書は、気候変動、新型コロナ、ロシアによるウクライナ侵略など安全保障上の脅威があるなかで、核兵器関連支出が増え続けても「安全保障上の環境に目に見える改善はなく、それどころか状況を悪化させている」と批判。核兵器禁止条約が「核保有国による無責任な無駄遣いへの国際的回答だ」と強調し、すべての国に参加を呼び掛けました。

この額あれば

20億人にコロナワクチン
13億人に清潔な水1年分

核保有9カ国の核兵器関連支出（2022年、単位ドル）

国名	支出額	1分当たりの額
① 米国	437億	83,143
② 中国	117億	22,219
③ ロシア	96億	18,228
④ 英国	68億	12,975
⑤ フランス	56億	10,603
⑥ インド	27億	5,181
⑦ イスラエル	12億	2,226
⑧ パキスタン	10億	1,967
⑨ 北朝鮮	5億8900万	1,221

（ICANの報告書から作成）